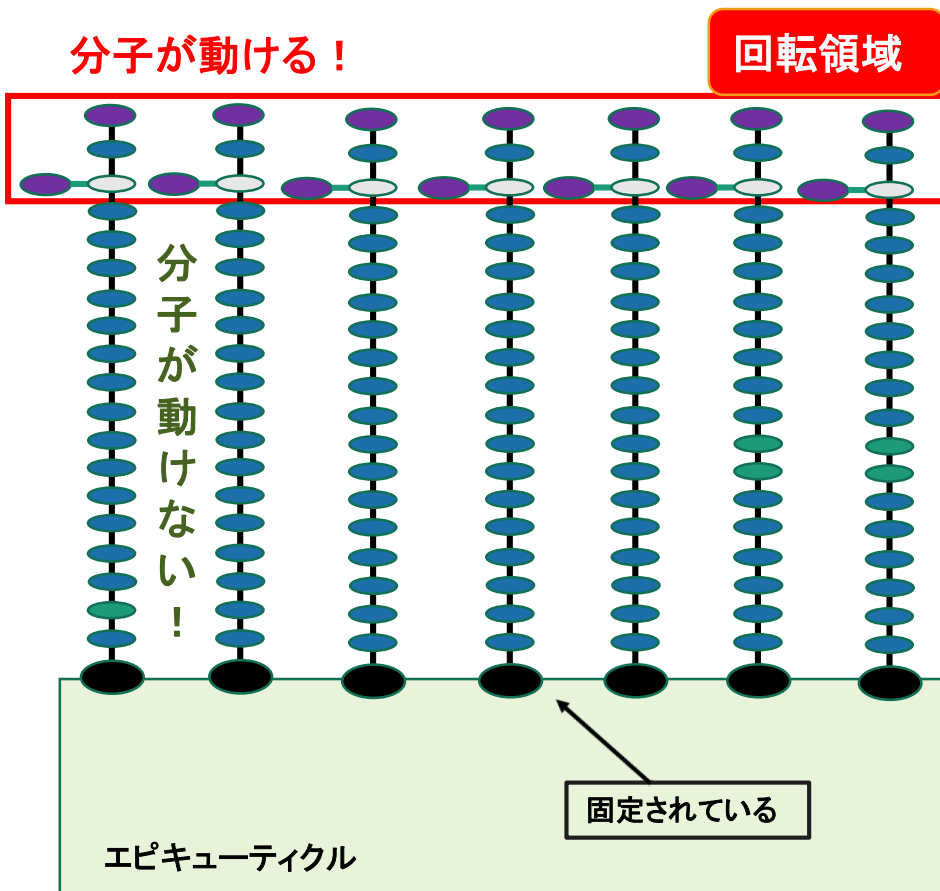


- 回転領域は、余分な空間があり、不規則な構造をしている。
- リュックサックをうまく詰められないのと同じ状態で、そこには余分な空間がある。よって自由な運動(回転)が可能になる。



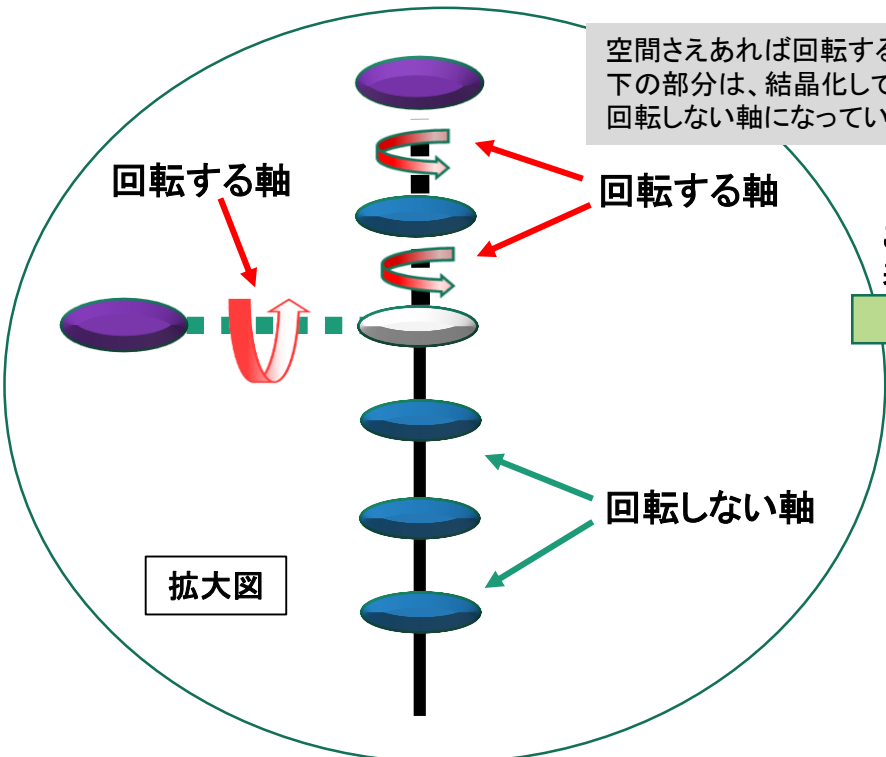
枝分かれがある
 ⇒分子同士がパッキングできない
 ⇒十分な空間がある
 ⇒回転が可能になる
《不規則構造》

回転しない領域

分子が真っ直ぐである
 ⇒まっすぐ規則的である
 ⇒パッキングされた状態
《規則構造》

↓
結晶化

- 回転しない領域は、分子が真っ直ぐで、ツツパリがなく、全て棒状の規則構造になっている。
- リュックサックに同じ形の積み木を詰めると、すき間なしに詰められる。すき間なく詰められるということは、分子の世界では結晶になるということ。結晶になれば空間がないので回転はできない。



これが表面にずっと並んでいると、表面が波打っていることになる。

